【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成27年2月5日(2015.2.5)

【公開番号】特開2013-131355(P2013-131355A)
【公開日】平成25年7月4日(2013.7.4)
【年通号数】公開・登録公報2013-035
【出願番号】特願2011-279390(P2011-279390)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｍ　8/02　(2006.01)
Ｈ０１Ｍ　8/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｍ　8/02　Ｒ
Ｈ０１Ｍ　8/10

【手続補正書】
【提出日】平成26年12月11日(2014.12.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
電解質膜の両側に一対の電極を設けた電解質膜・電極構造体と重力方向に縦長形状のセパレータとが積層されるとともに、前記セパレータには、電極面に沿って前記重力方向に反応ガスを供給する反応ガス流路が形成される燃料電池であって、
前記セパレータは、前記反応ガスを積層方向に流す反応ガス出口連通孔と、
前記反応ガス流路の出口側と前記反応ガス出口連通孔とを連通するバッファ部と、
を設けるとともに、
前記バッファ部は、前記反応ガス流路の出口側から前記反応ガス出口連通孔に向かって延在する複数本のガイド流路を有し、
前記ガイド流路は、前記反応ガス流路の出口側に近接する直線状部と、
前記反応ガス出口連通孔に近接して前記直線状部の端部に一体に連通し、該反応ガス出口連通孔に向かって湾曲する湾曲部と、
を有することを特徴とする燃料電池。
【請求項２】
請求項１記載の燃料電池において、複数本の前記ガイド流路は、それぞれの流路長が段階的に変化することを特徴とする燃料電池。
【請求項３】
請求項１又は２記載の燃料電池において、前記反応ガスは、前記反応ガス流路に沿って重力方向下方に向かって流通するとともに、
前記ガイド流路を流通する前記反応ガスは、前記反応ガス流路の出口側から前記反応ガス出口連通孔に向かって重力方向下方に流通することを特徴とする燃料電池。
【請求項４】
請求項１～３のいずれか１項に記載の燃料電池において、前記反応ガス流路の出口端部と前記ガイド流路の入口との間に隙間が形成されるとともに、
複数本の前記ガイド流路の始点は、一列に並んで配置されることを特徴とする燃料電池。